



# やまがた被害者支援センター だより

YAMAGATA Victim Support Center

令和5年8月発行

第35号

## 被害者支援はなぜ必要なのか、その重要性

### ～さらなる広報啓発を!～

公益社団法人やまがた被害者支援センター理事長 寒河江 浩二



この度、前任の黒沢洋介さんから大任を引き継ぎ、公益社団法人やまがた被害者支援センターの理事長を仰せつかりました。被害者支援という緊急性のある、それでいて継続性も要求される困難な任務に耐えることができるかどうかはなはだ疑問なのですが、天性の楽観主義と「為せば成る 為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」という超現実主義的な鷹山先生を尊敬してやまない者の一人として、謹んでお引き受けした次第です。

前任者同様、私も報道機関に長く身を置く立場であります。事件、事故の取材を数多く体験してきましたが、いずれもなぜこうした事件、事故が起きてしまったのか、という動機や経緯の解明に精力を傾けて取材を続けてきたといっても過言ではありません。つまり、加害者やその周辺が取材対象の中心になるわけです。もちろん、被害者やその周辺についても取材はするのですがそれが主たる要素とはならないのが通常です。ただ、被害者の「顔写真」の収集は、事故であれ、事件であれ、辛く、悲しい、絶望的で「人でなし」を自認せざるを得ないような作業でありました。被害者の遺族にとっては悲嘆の最中にお伺いして写真の提供を執拗にお願いするわけですから……。

当被害者支援センターの理事長を引き受けるに当たり、いろいろ考えたことがあります。それは、当時被害者やその家族を取材してよく感じたことなのですが、事件や事故の、被害者やその周辺の人の反応は漠然としていて、その先に何がある、というのがよく分かっていない、というか気付いていないという状況ではなかったでしょうか。目の前で起きたことの重大性に押しつぶされて、先に待ち構えている困難な社会の大きな壁が見えなくなっている、そんな気がしたものです。事件や事故で受けた理不尽な思いや不条理な運命になす術もなく立ちすくんでいる、という光景。通り掛かりの第三者として見た光景であって、そこで立ち止まって見てみようとは思わなかったのであります。今になってみると、強烈な自己嫌悪に陥ります。今回のような機会を得なければ永遠に気付くことがなかった視点であろうと思うと、冷や汗が出ます。そして本当に大事なものは、いわれのない不幸を背負われ、難渋されておられる人々に、社会全体で救いの手を差し伸べ、悲しい思い、寂しい思いを絶対させてはいけません、ということです。

平成17年4月1日に「犯罪被害者等基本法」が施行されました。ごく最近のことです。それまで犯罪被害者の声は、少なくとも国には届いていませんでした。同法を代表する3条に「すべて犯罪被害者等は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有する」としています。被害者の権利が明記された非常に画期的な法律とされています。多くの先人たちの苦労がある中で特に、奥様を凶刃により失った元日本弁護士会副会長岡村勲弁護士は「犯罪被害者の声が聞こえますか」という一冊の本が国を動かし、先の基本法誕生となったと言われています。

本年6月末現在、本県で「被害者支援に特化した条例」を制定した市町村は、山形、南陽、寒河江、長井、新庄の5市と高島、朝日、飯豊の3町ですが、今後他の市町村の制定促進、内容の充実化が急務となっています。

結びに、当センターの活動をお支えいただいている個人、企業、関係機関・団体の皆様に、心からの御礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**電話相談** 秘密は厳守いたしますので、一人で悩まずお電話ください。

〈やまがた被害者支援センター〉  
相談電話番号 **023-642-7830**  
月曜日から金曜日(10:00~16:00)

庄内出張相談所  
相談電話番号 **0234-43-0783**  
毎週水曜日(10:00~16:00)

■相談は無料です。(通話料はかかります)

やまがた性暴力被害者サポートセンター「べにサポ やまがた」  
**023-665-0500** 月曜日から金曜日  
(10:00~19:00)

※上記以外の時間は、国の夜間休日対応コールセンターにつながり、  
24時間365日、相談を受け付けます。

〈性暴力被害相談〉全国共通短縮ダイヤル  
は や く ワン(ストップ支援センターへ)  
短縮ダイヤル **#8891**

**メール相談** やまがた被害者支援センター及びやまがた性暴力被害者サポートセンターのホームページ内のメールフォームよりご相談いただけます。

## 令和5年度定時総会・講演会開催

公益社団法人やまがた被害者支援センター(理事長・黒澤洋介)の定時総会と講演会が5月25日、山形市の山形国際交流プラザで開かれました。

総会に先立ち、当支援センターで永年にわたり活動された2名の犯罪被害相談員に、黒澤理事長から「賞状」が授与され、その功労が顕彰されました。

総会では、黒澤理事長が

「現在国会で刑法の改正案を審議中であるが、現行の強制性交等罪の名称を不同意性交等罪に改めて性犯罪の成立要件も明確にするもので、これは被害者が求めてきたことが一歩前進し、性犯罪等の重大さについて社会的な理解もなされてきた表れである。そのことは、昨年度当センターに寄せられた相談件数490件の約8割が「べにサポやまがた」に関するものであることからもうかがい知れますが、この相談件数は、必ずしも実相を示すものでないと認識している。相談をする方の中には、何年にもわたり苦しみを引きずっている方もおられ、改めて心の傷の深さと大きさに驚かされており、それだけに当センターの果たす役割は大きなものがある。一方で、相談内容も複雑・多様化して難しい事案も目立ち、質の高い支援活動が求められており、本日の公認心理師・臨床心理士による基調講演もその一環である。また、当センターの重点課題である「被害者支援に特化した市町村条例」の制定については、3月議会で6市町村が制定し、全部で8市町村になるなど着実に増えてきているが、県内どこに住んでいたとしても支援が等しく受けられる環境づくりのため一層の加速化を進める必要がある。」等と挨拶しました。

続いて来賓の

山形県知事(代理 防災くらし安心部長 中川 崇氏)

山形県警察本部長(丸山 彰久氏)

山形県議会議長(メッセージ対応)

から祝辞をいただきました。

さらに、山形県警察本部長からは、当センターの多年にわたる業務に対する功労として感謝状の贈呈がありました。

議事では、昨年度の事業として、当センターの重点推進事項である、被害者支援に特化した条例制定に向けた市町村への働きかけを積極的に行った結果、6市町村で条例が制定され、全部で8市町村になったことのほかに、当センターへの性犯罪に関する相談が過去最多となるなど深刻さを増していることから、性犯罪・性暴力被害者の支援をメインテーマとした「犯罪被害者支援県民のつどい2022」の開催などを報告しました。

続いて、昨年度の収支計算が原案どおり可決・承認されました。

次に、本年度の活動重点として、

(1) 被害者支援の最前線としての相談・支援活動の充実強化

(2) 犯罪被害者等支援を目的とした市町村条例制定の加速化

を確認しました。

任期満了に伴う役員改選では、黒澤洋介理事長と柴崎和也専務理事が退任し、後任の理事長には山形新聞社社長の寒河江浩二氏、副理事長に安孫子英彦氏、新たな専務理事として齋藤日出男氏、理事に青柳紀子氏がそれぞれ選任されました。



〈表彰〉



〈理事長あいさつ〉



〈感謝状〉

## 【講演会】

総会の後、公認心理師・臨床心理士としてご活躍中の寒河江亜衣子様から「支援者の自己理解～チームワークとメンタルケア～」と題してご講演をいただきました。

講師の寒河江先生は、全ての支援活動の土台として、心理的安全性の確保をしっかりとさせる必要があり、その上にチームの機能向上と個々の精神衛生を行っていくべきであると訴えられました。

そもそも、「心理的安全性」とは、チームのメンバー一人一人が恐怖や不安を感じることなく、安心して発言、行動できる状態のことを示し、リスクの軽減や生産性の向上、メンバーのメンタルヘルス向上などに影響を与えるもの。チームワーク、さらにチームの機能向上の為には、センターの様々な仕事をマニュアル化し、初めて支援に当たる人が見ても、最低限の事が分かる状態にすることが大切であり、そのマニュアルは形骸化しないよう都度見直し、修正することが重要と解説されました。

また、支援者も一人の人間であり、相談を受けるという体験で傷つくこともあるため、支援者ケアとしての雑談が出来る環境が必要であると話され、職場の雰囲気づくりの重要性を改めて感じさせられました。

もう一つのテーマであるメンタルケアについては、心理的安全性という土台の上に、身体の健康、他者との距離、ダメージを受けた後のケアとその準備が必要と訴えられました。

身体の健康については、生活のリズムを整えるのが一番であり、食事や睡眠の乱れのチェックだけで無く、寝る直前、寝落ちするまでスマホを見ることは脳への負担が大きい。

ストレスがかかると、歯や胃に出たり、食べ過ぎたり食べられなくなる人もいるなど、人それぞれであるが、身体に症状が出る人の中にはストレスに気付いていない人もいるため、普段から自分を理解することが大切と説明されました。

更に他者との距離についても緩急をつける必要があり、コロナ禍と違って、協働することは互いに避けられないため、意識的に一人の時間も作れるとよい。ダメージケアなどについては、複数の手段を持つことの大切さを訴えられ、一見関係ない



〈講師〉

ような雑談や、人に頼らなくても自分で自分の機嫌を取るための手段を持つよう勧められました。

今回の講演は、普段電話相談や、直接支援を行う支援員達にとって、改めて自分を見つめ直し、自己理解に繋げることの出来る大変意義深いものでありました。

寒河江先生のお話を参考に、センター全体として心理的安全性を確保し、今後の各種支援活動に活かしていきたいと思います。

寒河江先生からは、ご多忙の中、分かりやすく説得力のある講演をいただき、心から感謝と御礼を申し上げます。



〈講演風景〉

## 犯罪被害者支援に特化した市町村条例制定の促進に関する取り組み

犯罪被害者がどこに住んでいてもニーズに合う中・長期的な支援が途切れることなく受けられる環境づくりを進めるため、県内自治体に、被害者支援に特化した条例制定を働きかけしているほか、各警察署の被害者支援情報ネットワークでの講話等を実施しております。また、地域ぐるみの被害者支援を実現するため、マスコミによる広報活動にも努めております。

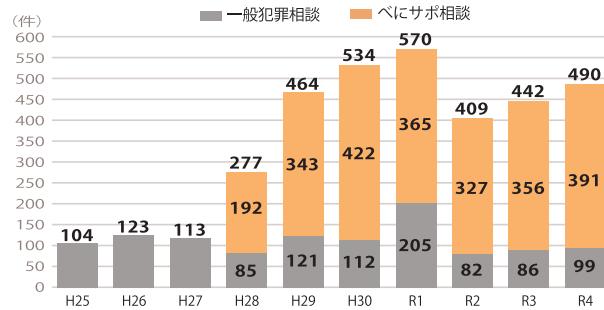


# 令和4年度における相談受理および直接支援の活動状況

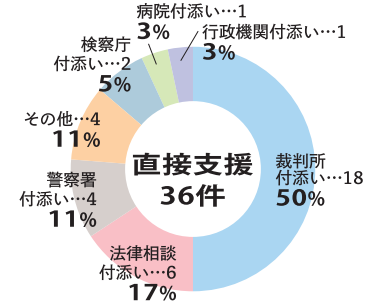
令和4年度の当センターにおける相談受理件数は490件で前年度に比べ48件増加しております。その中で、性犯罪に関する相談が242件で過去最多になっております。

(注:「べにサポ」は、「やまがた性暴力被害者サポートセンター」の別称で、性暴力・性犯罪の相談にワンストップで対応しております)

過去10年間のやまがた被害者支援センター相談受理件数の推移

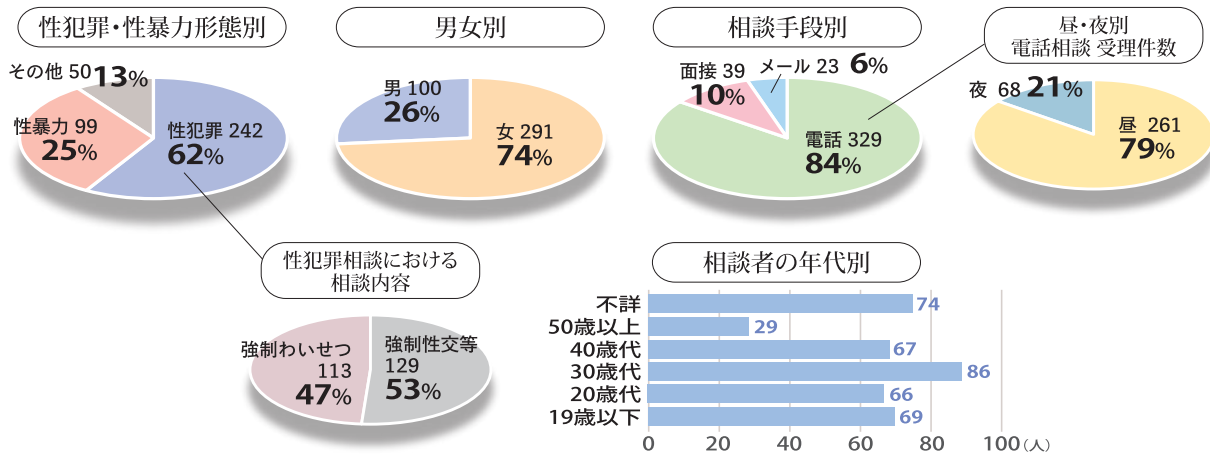


令和4年度 直接支援状況



## 令和4年度 やまがた性暴力被害者サポートセンター「べにサポやまがた」の相談受理状況

※令和4年4月1日～令和5年3月31日に受理した「391件」の相談内容



## 令和4年度決算報告

### 【令和4年度活動決算】

#### 収入の部

科目	決算額(円)	摘要
会費	2,574,000	正会員、賛助会員会費
寄付金	7,643,411	各種寄付
委託料	6,744,672	県べにサポ委託料
補助金	4,077,820	県補助金、市町村負担金等
助成金	2,570,500	日本財団助成
雑収入	26	受取利息
<b>合計</b>	<b>23,610,429</b>	

#### 寄付金内訳

科目	決算額(円)
警察職員寄付金	2,210,668
ワンクリック募金	249,000
協力自販機寄付金	2,693,281
赤い羽根共同募金	300,000
一般寄付、募金箱	2,190,462
<b>合計</b>	<b>7,643,411</b>

#### 支出の部

科目	決算額(円)
相談活動事業費	2,115,610
直接支援事業費	749,211
広報啓発活動事業費	2,754,454
相談員養成・育成事業費	570,775
調査研究事業費	691,401
県・委託事業費	6,941,328
日本財団助成事業費	2,648,320
管理費・事務費	7,238,519
<b>支出合計</b>	<b>23,709,618</b>

# やまがた被害者支援センター活動報告

## 支援活動員だより

やまがた被害者支援センターで電話や面接での相談および直接的支援に当たっている支援相談員の方々の思いや活動を紹介します。



### 支援活動員として寄り添う

「私は家族が犯罪に巻き込まれるなんて、考えたこともありませんでしたが、当事者になって初めて誰にでも起こりうることだと気づきました。」

全国被害者支援ネットワークにより刊行された『犯罪被害者の声』に寄せられた被害者家族の慟哭の声です。

私が、「やまがた被害者支援センター」での活動を始めて10年以上の歳月が経ちました。約一年間の研修を受けて支援活動員となったのち、東北ブロックや全国での研修会等可能な限り参加して、支援活動の質の向上、意識の向上など、常に支援を円滑に行うために学びを続けました。

支援活動員になって最初の支援は、電話相談から始まります。勇気を振り絞った電話の向こうでの相談者の切実な思いが伝わってきます。そんなとき、「本当に大変でしたね。お電話をするのも勇気がいりましたね。」と、電話の向こうの相談者に労いの声掛けをします。

相談者の方々の相談内容は多岐にわたります。被害に遭われた直後の相談者は、心の整理ができないまま、勇気を出して電話に向かわれているため、時系列的な話などを説明しづらいと思われれます。そんなとき、私たち相談員はひたすら相談者に寄り添い傾聴します。話を終えると、ほっとした声で、「聞いていただき、ありがとうございました。」と語ってくれることもあります。

相談を受けたあと、私たちセンターで何ができるのか検討し、できる限り相談者の思いに寄り添った支援を行えるようにしています。支援活動は、電話相談、面接相談、他の機関からの情報提供による支援、関係機関への付添い支援など多方面にわたります。私は、ある相談者への寄り添いを通して相談者が語ってくれた忘れることのできない言葉が耳朶に残っています。「時が何年経っても、この悲しみは消え去ることはありません。」そう語ってくれた1人の母親の言葉がすべてを語っているように思います。

遺された被害者家族の慟哭の声を忘れてはいけないと、私は常に心に留めて活動に向かう日々です。

## 相談員のスキルアップを図る研修会の開催

犯罪被害者の相談・支援業務を担う人材の育成を図るため、7月13日、山形県保健福祉センター2階会議室において、日本司法支援センター法テラス山形地方事務所から講師をお迎えし、全体研修会を開催しました。

法テラスの業務全般及び法律相談援助、代理援助等について学ぶとともに、活発な質疑応答がなされ有意義な研修となりました。



## センターの活動を支えてくださる皆様に心から感謝申し上げます。

寄付金および賛助会費として、財政支援をいただいた方を、謹んでご報告申し上げます。

(令和4年4月1日から令和5年7月31日)

ご協力いただいた賛助会費・寄付金は、犯罪や事故に遭われた被害者等を支援する諸活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



### <賛助会員 個人> (敬称略)

會田庸二郎	井田 守男	大宮多恵子	菅野 雅博	斎藤善太郎	新宮奈奈子	土屋 哲郎	早坂 松一	矢作 勝美
青木 繁	板垣 恵子	大宮 光也	菊地 武夫	齋藤 智明	菅井 精	寺崎 智代	早坂 寛子	矢萩 一
青柳 初夫	板垣 隆	大森 典夫	菊池 紀久	三枝 和也	菅野 健吉	戸石 健二	林 由美子	山川 孝
青柳 りゑ	板垣 幸江	岡崎 瑞穂	岸井 宏樹	酒井 博	菅原 博子	富樫 幸吉	原田 暁子	山口登喜雄
青山 明弘	伊藤 俊夫	小川 聡美	木村 豊生	寒河江幸次	鈴木 文雄	徳宮 龍男	原田 伸也	山口 敏彦
青山 永策	伊藤 知雄	小川 るみ	草苅 隆志	寒河江孝男	鈴木 政明	戸田 正宏	深瀬 邦彦	山田 登
青山 均	伊藤 宏	奥山歌代子	楠 二男	笹原 清彦	鈴木 力夫	長岡 敏明	舟山 文雄	横尾 昭男
阿彦 忠之	井上 敬三	奥山 敬子	工藤 英雄	佐藤 攻	鈴木 隆一	長澤 忠	堀田 いく	横尾智三郎
阿部 和行	井上 聡子	小座間一夫	黒沼 範子	佐藤 金悦	清野 伸昭	中島 勲司	堀江マサ子	横尾 量助
阿部 憲史	今川 昌幸	押井 邦昭	桑山 幸子	佐藤 重勝	清野彦四郎	中島 信勝	本田香奈子	横山 礼子
阿部ひとみ	漆山 茂	小田 悟志	小関 和栄	佐藤 大	相馬 諭	長瀬 純男	本間 等	吉田美智子
阿部 正希	遠藤 和彦	小野寺 久	小玉 隆子	佐藤 誠	平 ふみゑ	長瀬 恒夫	本間 文夫	和田 英光
五十嵐敏子	遠藤 竹雄	加賀山隆士	後藤 稔	佐藤美智雄	高木 信博	成沢 一彦	松尾あさ子	渡部 京子
五十嵐幸弘	遠藤 光正	片桐 俊幸	小林 裕	佐藤 光子	高橋 喜八	新野ふみ子	眞見 静子	渡部 順子
池田 眞治	遠藤 吉寛	片桐 政隆	小林 邦憲	佐藤 泰夫	高橋誠一郎	二戸 昭夫	三浦 繁則	渡辺 徳夫
石井 慶市	及川 善大	加藤 玲子	小林 洋一	佐藤 洋子	高橋 富蔵	仁藤ミエ子	三塚 勝男	渡部 幸雄
石倉 隆	大川 隆雄	金内 善治	小山 政弘	佐藤 良江	武田 朋泰	信田 信一	水戸 豊	
石栗 義秋	大久保義雄	金澤 和子	近藤 寛治	志釜 敏夫	田宮由美子	羽角 巖	峯田 典明	
石山 行雄	太田 純子	金澤 浩二	近藤 好司	信夫 鈴子	田村 留勝	長谷川啓子	森谷 裕一	
伊豆倉公子	太田雄美子	金杉 浩	齋藤 和也	柴田美恵子	長南 明重	長谷川 法	諸橋 哲郎	
伊勢 和正	大竹 孝幸	金森 義弘	齋藤順二郎	白田 一志	土屋 講	花見 彰	八重樫勝昭	

### <寄付 個人> (敬称略)

石栗 義秋	白井 富美	奥山 敬子	小林 正彦	佐藤 健二	林 由美子	榎野 和男	吉田 敏雄
伊藤 政徳	梅津 成夫	小田嶋康司	小山 和夫	佐藤 正幸	星川 篤	増田 ゆみ	
井上 聡子	遠藤 凉一	金杉 浩	齋藤 充宏	土屋 哲郎	堀川 隆志	三塚 勝男	
植村 久美	岡部 茂	黒澤 洋介	齋藤由美子	萩原さち子	本間 等	村山恵美子	

### <寄付 法人・団体> (敬称略)

イオン東北(株)	上山地区警察官友の会	天童市更生保護女性会	山形地区安全運転管理者協議会
尾花沢地区安全運転管理者協議会	国際ソロプチミスト天童	天童地区保護司会	大和建設運輸(株)
おやじ日本山形	庄内町被害者支援連絡協議会	南陽地区被害者支援連絡会	米沢警察署駅前交番連絡協議会
(株)とみひろ	(税)黒沼共同会計事務所	東根市更生保護女性会	

### <寄付 設置募金箱> (市町村民からのご寄附)

大蔵村役場住民税務課	戸沢村役場住民税務課	真室川町役場総務課	最上町町民税務課
金山町役場総務課	東根市役所	道の駅むらやま	
鮭川村役場	舟形町総務課	村山市役所	
新庄市役所環境課	マツギドライブインスクール村山校	最上総合支庁総務課	

### <正会員 法人・団体> (敬称略)

山形県商工会連合会(株)	エフエム山形	(一社)山形県銀行協会
山形県商工会議所連合会(株)	トヨタレンタリース山形	山形県警友会連合会
(一社)山形県経営者協会	山形経済同友会	

## ＜賛助会員 法人・団体＞ (敬称略・五十音順)

### 【山形市】

(一社)山形県安全運転管理者協会  
 あいおいニッセイ同和損保山形支店山形第一支社  
 A L S O K 山形 株  
 (一財)山形県警察職員互助会  
 (一社)日本自動車販売協会連合会 山形県支部  
 (一社)山形県医師会  
 (一社)山形県自家用自動車協会  
 (一社)山形県自動車整備振興会  
 株 市村工務店  
 株 井出コンタクトレンズ  
 株 エム・エス・アイ  
 株 クラフト  
 株 ジョインセレモニーパレスグランドール  
 株 セロン東北  
 株 たいよう共済山形支店  
 株 田村測量設計事務所  
 株 塚田会計事務所  
 株 でん六  
 株 とみひろ  
 株 ベガスベガス  
 株 本間利雄設計事務所  
 株 メコム  
 株 山形新聞社  
 株 山形テレビ  
 株 山形ビルサービス  
 株 ヤマコー  
 株 ヤマザワ  
 株 ワイム  
 小白川建設 株  
 小松建設 株  
 (医)二本松会山形さくら町病院  
 新和産業 株  
 住友生命保険相互会社 山形支社  
 (税)黒沼共同会計事務所  
 全国共済農業協同組合連合会 山形県本部  
 全国農業協同組合連合会山形県本部  
 損害保険ジャパン 株  
 東京海上日動火災保険 株  
 東北医療機器 株  
 東北電力 株 山形支店  
 ときわ商事 有

(特非)山形県自動車公益センター  
 トヨタカーラ山形 株  
 日本地下水開発 株  
 東日本電信電話 株 山形支店  
 東日本旅客鉄道 株 山形支店  
 藤庄印刷 株  
 (弁)武田法律事務所  
 山形いすゞ自動車 株  
 山形ガス 株  
 山形警備保障 株  
 山形県軽自動車協会  
 山形県農業協同組合中央会  
 山形県ハイヤー・タクシー協会  
 山形県ハイヤー協会  
 山形県民共済生活協同組合  
 山形県遊技業協同組合  
 山形県立保健医療大学  
 山形酸素 株  
 山形事務器販売 株  
 山形信用金庫  
 山形大学医師会  
 山形ダイハツ販売 株  
 山形農業協同組合  
 山形パナソニック 株  
 山形放送 株  
 ヤマケンビルテックサービス 株  
 有 サガワデンキ  
**【上山市】**  
 (一社)上山市医師会  
 羽陽建設 株  
 (宗)称念寺  
 高野・せきね外科・眼科クリニック  
**【天童市】**  
 (一財)山形県交通安全協会  
 (一社)天童市東村山郡医師会  
 (医)丹心会吉岡病院  
 (医)斗南会秋野病院  
 エムテックスマツムラ 株  
 日新製薬 株  
 山形ゾントクラブ  
**【寒河江市】**  
 曙ブレーキ山形製造 株

大富建設 株  
 株 寒河江測量設計事務所  
 國井建設 株  
 角田商事 株  
 日東ベスト 株  
**【東根市】**  
 株 山本製作所  
 国際ソロプチミスト東根  
**【河北町】**  
 (医)つかさ会齊藤医院  
 勝川建設 株  
 株 トウシヨ  
 升川建設 株  
**【大江町】**  
 有 藤島屋商店  
**【西川町】**  
 有 玉貴  
**【朝日町】**  
 大東建設 株  
**【村山市】**  
 (一社)北村山地区医師会  
 小野内科胃腸科クリニック  
 河西建設 株  
**【尾花沢市】**  
 有 徳宮商事  
**【新庄市】**  
 (一社)新庄市最上郡医師会  
 (医)三條医院  
 さいほく鉄工 株  
 (宗)善龍寺  
 新庄ロータリークラブ  
**【最上町】**  
 (医)永井医院  
**【酒田市】**  
 (医)太田医院いちごレディースクリニック  
 株 鳥海学園  
 酒田塗装 株  
 長島整形外科クリニック  
 前田製管 株  
 山田塗装 株  
 有 齋藤組

**【庄内町】**  
 株 大商金山牧場  
 関東自動車興業 株  
**【鶴岡市】**  
 (一社)鶴岡地区医師会  
 いでは診療所  
 (医)いとうクリニック  
 (医)すこやかレディースクリニック  
 株 オランダ  
 株 長南牛肉店  
 株 佐藤組  
 株 マルゴ  
 山形優味 株  
**【長井市】**  
 (医)杏山会吉川記念病院  
 (医)仁陽会仁陽堂外田医院  
 株 サンノー企画印刷  
 山形中央信用組合  
**【南陽市】**  
 (一社)南陽市東置賜郡医師会  
 置賜ツバメ石油 株  
 株 三和  
 株 三幸ソーイング  
 株 武蔵屋  
 (医)公德会佐藤病院  
 住友生命保険相互会社南陽支部  
**【高島町】**  
 株 エイコウ  
 株 高島ワイナリー  
 羽山総合建設 株  
**【米沢市】**  
 (一社)米沢市医師会  
 金子建設工業 株  
 株 エービーエム  
 株 三友医療  
 株 米住建設  
 (宗)普門院  
 東北警備保障 株  
 米沢合同運送 株  
**【川西町】**  
 山形おきたま農業協同組合  
**【小国町】**  
 大和建設運輸 株

### ●山形県警察の各所属 職員一同様

総務企画課	生活安全企画課	鑑識課	警備第二課	尾花沢警察署
広報相談課	地域課	科学捜査研究所	機動隊	新庄警察署
留置管理課	通信指令課	機動捜査隊	警察学校	庄内警察署
会計課	人身安全少年課	交通企画課	山形県警察学校初任科生	酒田警察署
施設装備課	生活環境課	交通指導課	山形県情報通信部	鶴岡警察署
警務課	サイバー犯罪対策課	交通規制課	山形警察署	長井警察署
人材育成課	刑事企画課	運転免許課	上山警察署	小国警察署
監察課	捜査第一課	交通機動隊	天童警察署	南陽警察署
厚生課	捜査第二課	高速道路交通警察隊	寒河江警察署	米沢警察署
情報管理課	組織犯罪対策課	警備第一課	村山警察署	



## 善意のご寄付をいただいた皆様の紹介

### 「酒田警察署」様

酒田警察署(熊坂嘉幸署長)様と自動販売機設置業者「斎藤商店(齋藤康介代表)」様のご協力で、当センターへの寄付金付き自販機が4月26日酒田警察署に設置されました。ありがとうございました。



### 「天童市更生保護女性会」様

天童市更生保護女性会様から5月29日ご寄付がありました。贈呈式では、森睦会長から当センターの齋藤専務理事に交付されました。

支援活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。



### 「山形県警察学校」様

山形県警察学校(小川広治学校長)様と自動販売機設置業者「コカ・コーラボトラーズジャパン山形支店(高田茂樹支店長)と藤島屋商店(庄司敏夫社長)」様のご協力です。寄付金付き自販機が5月30日、山形県警察学校に設置されました。ありがとうございました。



### 「株式会社とみひろ」様

呉服販売の老舗「とみひろ」様から7月12日、高額のご寄付がありました。贈呈式では、富田浩志社長から当センターの寒河江理事長に交付されました。同社からのご寄付は4回目となります。

貴重な財源として支援活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。



## 賛助会員への加入や各種ご支援・ご協力をお願いします

賛助会員会費 ◎個人会員……1口 **2,000円** ◎法人・団体会員……1口 **10,000円**  
(口数に制限はありません) (口数に制限はありません)

ご入会の方法 / 郵便振り込みか銀行口座へのご入金をご利用ください。  
 詳しくは当センター事務局(電話 **023-642-3571**)にお問い合わせください。

賛助会費や寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

### ◆ 編集後記 ◆

この度専務理事を拝命しました齋藤です。私は、元警察官であり被害者対策(支援)の経験はあるものの、私の感覚で言えばそれは専ら犯人を捕まえるためのものでありました。そのため被害関係者の方々には今でいうところの二次被害を与えていたのではないかと大いに反省しているところです。専務理事となり、日が浅いですが、当センターで行う被害者支援活動は、私の想像とは少し違っており、警察を退職して5年も経つのに、気持ちはいまだ現職のままの自分がいて邪魔することが多々ありますが、立場をわきまえ、初心に帰り努力しますので、宜しくお願いします。

今年の「県民のつどい」は、通常通りの開催で、11月16日(木曜日)を予定しております。

専務理事 齋藤 日出男

### やまがた被害者支援センター だより 第35号

令和5年8月発行

編集・発行

山形県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

### 公益社団法人 やまがた被害者支援センター

〒990-0031

山形市十日町一丁目6-6 山形県保健福祉センター内

TEL 023-642-3571 FAX 023-676-5630

(土・日・祝日・年末年始は休みとなります。)

ホームページアドレス <https://www.yvsc.jp>